

## 日本郵政ガバナンス検証委員会第1回会合 終了後郷原委員長ブリーフィング要旨

- 1 日 時：平成22年1月12日(火) 17時55分から18時10分
- 2 場 所：総務省内記者会見室
- 3 要 旨：

- ・ 今回の日本郵政ガバナンス検証委員会、議事自体は非公開であるが、会議が終了後には、簡単に私の方からどういった議論をしたのかをお話をしていく予定。
- ・ 今日、初回ということで、どういう事項を検証の対象にしていくのか、また、それに関して、今までどういう問題点が把握されているのかという点及び検証体制について議論を行った。
- ・ 検証事項は大きく検証チームごとに3つに分かれており、①「不動産取引」検証チームは、「かんぽの宿等の一括譲渡の問題及び公社時代の資産売却の問題も含めたそれ以外の不動産開発事業等の問題、②「JPEx」検証チームは、日通ペリカン便との宅配便統合及び日本郵便輸送の輸送委託契約の問題、さらに③「クレジットカード業者等」検証チームは、クレジットカード業者やグループ広告責任代理店、研修担当業者の選定に関する問題をそれぞれ扱う。
- ・ 各チームには総務省、日本郵政の関係、それから弁護士2人という構成メンバーが配置される。また、この検証全体をこの検証委員会の委員でもある赤松弁護士が総括する。
- ・ こういう検証体制で、こういう検証対象の事項を検証していくということについて、了承が得られた。
- ・ 今回の検証は、これまでの日本郵政の事業の運営に関する具体的な問題を明らかにするなかで、コーポレートガバナンスにどのような問題があったのか、それに関連して、コンプライアンスにどのような問題があったのかということ全体を明らかにしていき、それによって今後の日本郵政のコーポレートガバナンスの在り方について、少しでもプラスになるような材料を提示していくことが目的。
- ・ 今後のスケジュールは、一応、2月に1回、3月に1回、この委員会を開催して、検証チームの検証の状況を踏まえて、議論していく見込み。ただ、最終的に報告書として成果をまとめていく上では、それ以外にも若干、集まって話を行う必要が生じるかもしれない。

以 上